

なるほど新交通

No. 1

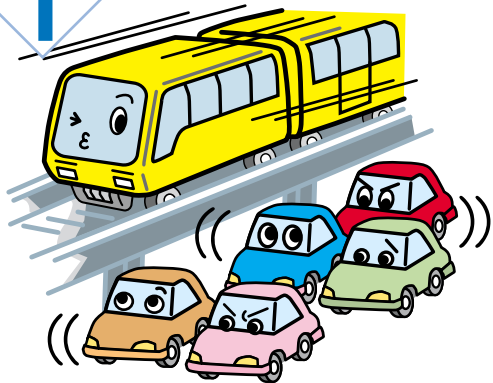
新交通事業の制度ってなあに？

皆さんの身近な足になる新交通「日暮里・舎人線」について、これから毎号、分かりやすく説明していきます。初回は新交通事業の制度についてです。

昭和40年代後半以降、わが国では急速にモータリゼーションが進み、道路の混雑や渋滞が目立つようになりました。これに対応する新しい道路の整備にも限界があることから、既にある道路の空間を極力利用して道路交通の補助的役割を担うことを目的に、新交通整備事業が国の制度として創設されました（都市モノレールも同じ仲間です）。

現在、日暮里・舎人線全線で工事している支柱やけたなどのインフラ部分（道路構造物）は新交通専用道路という道路の一部として道路管理者がつくっています。事業にあたっては、一般の道路と同様に国からの補助（ガソリン税や自動車重量税による道路特定財源）を受けて進めています。

日暮里・舎人線のインフラ部分は東京都が事業主となり、道路をつくる部署である建設局が担当し、新交通建設事務所は現場の最前線で用地買収、工事の設計や監督など



を行っています。これ以外の、電車や信号、車庫などはインフラ外事業といわれ、東京都地下鉄建設（株）が整備することで、役割分担が決まっています。

次回は新交通システムってなあに？です。

事業概要

建設区間	日暮里駅(仮称)～見沼代親水公園駅(仮称)
路線延長	約10km
駅数	13駅
運行計画	5両編成(定員298人)
所要時間	約20分(表定速度29km/h)

◆新交通システム◆日暮里・舎人線の仲間たち! ①

東京臨海新交通臨海線「ゆりかもめ」

日暮里・舎人線は、ゴムタイヤをはいて走行し、列車の出発・走行・停止、駅でのドア開閉などすべてコンピュータで制御する全自動無人運転の新交通システムです。これから毎号、日暮里・舎人線の仲間を紹介していきます。



今回紹介するのは「ゆりかもめ」です。「ゆりかもめ」は、都心と東京臨海副都心を結ぶ交通機関として、平成7年11月に開業しました。新橋駅から有明駅まで延長約12kmを24分で走り、6両編成(定員352人)で運行しています。

沿線には、レインボーブリッジや、お台場、東京ビックサイトなど様々な話題のスポットがあり、1日の平均利用者数も10万人を超え、大勢の方に利用されています。また、車窓からの海や夜景の眺めはロマンティックで大変人気があります。

11月2日には「汐留駅」が開業し、大江戸線とゆりかもめはダイレクトな乗り換えが可能となるほか、将来は地下歩道により都営浅草線、JR線、営団銀座線の各新橋駅に連絡し一段と便利になります。現在、「ゆりかもめ」を更に有明から豊洲まで約2.8km延伸するため、平成17年度末の開業を目指して整備が進められています。

次回は横浜新都市交通「シーサイドライン」を紹介します!

本事業の一部は「ガソリン税、自動車重量税等」の財源をもとに国土交通省の国庫補助により、東京都の都市計画事業として施行するものです。

東京都建設局道路建設部 ホームページ
http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/douken/index_j.html

東京都地下鉄建設株式会社 ホームページ
<http://www.chikaken.jp/>

●お問い合わせ先

東京都新交通建設事務所 工事課
 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里5丁目26番8号 スズヨシビル2F
 TEL.03-3805-7803 FAX.03-3805-7798
 発行 平成14年12月3日 登録番号(14)3



新交通が やってくる!

日暮里・舎人線NEWS
 平成14年12月3日発行

No. 01
 年2回発行

舎人地区、日暮里間、約20分!

新交通 日暮里・舎人線 平成19年度開業

地域を結ぶ。明日が変わる。



都は「新交通日暮里・舎人線」の平成19年度開業に向け、不転の決意をもって事業を進めております。この日暮里・舎人線は、区部北東域の交通不便地域の解消、沿線街づくりの促進など、地域の活性化に大きく貢献するものです。事業実施にあたっては、用地取得はもとより、細心の注意を払って発生する交通渋滞や騒音に対するご理解など、皆様から温かいご協力をいただいております。あらためて深く感謝し、御礼申し上げます。

今般、地域の足となる「日暮里・舎人線」をより一層ご理解いただきたく、工事状況などをお知らせする広報紙を発行することにいたしました。引き続き、事業に対しまして皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。発行の挨拶とさせていただきます。



東京都新交通建設事務所 所長 高橋 興一


創刊にあたり

足立区谷在家付近

見沼代親水公園から日暮里まで 5年後の開業へふくらむ期待。

約 **13駅** を **20分** で!

路線上のヘルメット(けた工事)とつるはし(支柱工事)は工事中の区間及び平成15年3月までに工事着手が予定されている区間です。



現在 までの工事の進捗状況は
支柱工事...74%
けた工事...39% となっています。
(平成14年10月末現在)

けた工事 (軌道沿いのせり出し部分(せり出し)の工事)
支柱工事 (土台作りをして支柱をたてる工事)



数字は、日暮里からの所要時間(分)
※駅名は全て仮称です。



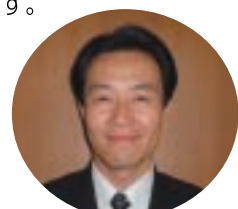
混雑する尾久橋通り(放射11号線)…日暮里・舎人線に乗ればこの渋滞に悩まされることはない。



隅田川の工事…尾久橋通りの上を走る日暮里・舎人線ですが、ここでは尾久橋の横を通ります。

新たな活力に期待
私たちが進める再開発は、日暮里駅前では計画しているもので、駅への利便性を活かして駅前の活性化を図ることを目的としています。したがって、日暮里・舎人線の開業がこの街へ新たな活力を運んでくれることを期待しています。

小川順一郎
ひぐらしの里中央地区市街地再開発準備組合


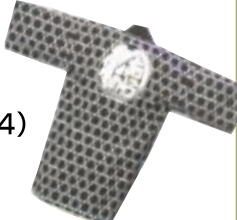


期待してます!
日暮里・舎人線

第23回 あらかわの伝統技術展

荒川区在住の職人さんたちが荒川総合スポーツセンター(南千住6-45-5)に集合!伝統技術を今に受け継ぐ熟練した技を披露します。実演、展示、即売、体験コーナー等、様々なイベントが用意され、12月6日(金)から8日(日)までの午前10時から午後6時まで開催されます。東京の下町あらかわで育まれた伝統工芸、技術を是非ご堪能ください。お問い合わせは


荒川ふるさと文化館
(☎03-3807-9234)

街の情報 この地域の「あらかわ」の紹介です。

第9回舎人文化市(ごぼう市)

毎年多くの人で賑わう舎人文化市(ごぼう市)。今年は12月22日(日)午前10時から氷川神社(舎人五丁目)で開催されます。新鮮な野菜や生花などを破格の値段で販売。新交通焼き(大判焼き)が無料で配られるなどの楽しい企画も盛りだくさんです。またフリーマーケットも行われ、現在出店者を募集中です(¥1,000/2m²)。御希望の方は下記まで連絡を。
舎人町会文化部長 横田 新一 (☎03-3897-0907)




期待してます!
日暮里・舎人線

両国国技館へもぐっと便利に

中立部屋は、見沼代親水公園駅の程近くに平成12年6月に誕生しました。まちが便利になることは、大変良いこと。両国国技館へ出向くにも、日暮里駅で乗り換えれば今よりぐっと近くなります。部屋の若い衆も日暮里・舎人線の開通を期待して待っています。

中立親方 大相撲・元小結両国



JR山手線
池袋

西日暮里

日暮里

明治通り

都電

隅田川

荒川
首都高

環状七号線